



戦争をさせない
Anti-War Committee of 1000
1000人委員会

1000人委員会ニュース

No.58

(2017年10月8日)

〒101-0062 東京都千代田区

神田駿河台 3-2-11 連合会館

平和フォーラム内

TEL03-3526-2920

FAX03-3526-2921

**臨時国会冒頭解散徹底弾劾！
みんなの力で安倍政権を打ち倒し、
「2020年改憲」を阻止しよう！**



5月3日の憲法集会には5万5千人の市民が大結集、
改憲阻止に向け、がんばりあう決意を固めた。

9月28日、安倍首相は臨時国会冒頭での解散に踏み切り、10月10日公示—22日投開票の日程で衆議院選挙が行われることになりました。

森友・加計学園問題の究明を求める野党の臨時国会開催要求に応じないばかりか、臨時国会冒頭で衆議院解散を行ったのです。市民社会の不信に向き合おうとせず、保身に過ぎないこの解散を「国難突破」などと言いつくろうこの暴挙は絶対に許されるものではなく、徹底的に弾劾し尽くさなくてはなりません。

10月2日に発表された自民党の衆院選公約のなかには、憲法改「正」をめざすことが盛り込まれています。今年5月3日に公然と掲げられた安倍首相の2020年改憲をめぐる動きは、選挙の結果に左右されるものの、重大な局面にあると言えます。

民進党の「希望の党合流」問題によって野党共闘にも紆余曲折が発生しましたが、「立憲民主党」があらたに発足し、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」（市民連合）が野党各党と締結してきた政策協定についても、合意に至っています。この間市民のたたかひのなかで積み重ねられてきた野党共闘の内容が、ぎりぎりのところで守られることになりました。

戦争をさせない1000人委員会は、平和と民主主義、そして一人ひとりのいのちの尊厳を守ろうとするすべての皆さんに、改憲と戦争への道を阻むため、全力を尽くされることを呼びかけます。ともにがんばろう！

11. 3 国会包囲大行動に集まろう！

【戦争をさせない1000人委員会 声明】 第48回衆議院議員総選挙にあたって



9月28日、安倍首相は、森友・加計学園問題の究明を求める野党の要求に応じないばかりか、臨時国会冒頭で衆議院解散を行いました。森友・加計学園問題などの市民社会の不信に向き合おうとせず、東北アジアにおける平和外交への議論も放棄し、自らの政権の維持を目的とした解散は、憲法に反する首相権限の濫用とも言えるものです。国会解散は、憲法第7条の天皇の国事行為における内閣の助言と承認を根拠にしたものですが、第7条は「国民のために」と規定しており、このような解散に大義はなく、主権者の権利を侵害し政治を私物化するもので、決して許されません。

総選挙を前にして、小池百合子都知事を代表とする「希望の党」に、野党第一党の民進党が合流しました。民進党の前原誠司代表は、合流の理由を「政権交代」に求め、すべての民進党衆議院議員の合流を示唆しましたが、小池代表は、候補公認のための政策協定書に「現行の安全保障法制については、憲法にのっとり適切に運用する」「憲法改正を支持し、憲法改正議論を幅広く進める」「外国人に対する地方参政権の付与に反対する」などの条件を付し、意見の相違を認めずに民進党の一部議員を排除するとして、大きな政治的混乱をきたしました。前原代表の責任は重大です。

小池代表が示したこれらの条件は、憲法の平和主義を踏みにじり、排外主義を肯定するものです。小池代表は「しがらみのない政治を行い、日本をリセットする」と述べ、希望の党を「寛容な改革保守」としていますが、その政治主張はむしろ極右的なもので、安倍政権と何ら変わるものではありません。小池代表は安倍首相との連携は否定するものの、自民党の補完勢力でしかない維新の会と連携し、選挙後の情勢の中では自民党との連携にも含みを残しています。私たちはこうした希望の党の方針を、支持することはできません。

希望の党が示した政策協定を拒否し、これまで民進党が進めてきた政策を支持する枝野幸男民進党代表代行は、あらたに「立憲民主党」を立ち上げました。「まっとうな政治」を掲げて、9条改憲を許さず、原発ゼロを実現するなどの公約を掲げ、民主リベラルの旗を掲げました。

戦後日本の市民社会は、日本国憲法の平和主義、民主主義、基本的人権の尊重という理念の実現に向け努力を重ねてきました。戦争をさせない1000人委員会は、この歩みを、道半ばにして止めてはならないと考えます。その立場から、私たちは立憲民主党の発足を歓迎するとともに、これまでの野党共闘の枠組みを、社民党、共産党とともにいっそう強化し、安倍政権退陣に向けて、たたかいを進めていかななくてはならないと考えます。

改憲を主張する自民党、希望の党、維新の会の伸長は、改憲への一気呵成の道を開くものであり、そしてまた戦争への道を開くものです。戦争をさせない1000人委員会は、平和と民主主義、そして一人ひとりのいのちの尊厳を守ろうとするすべての皆さんに、改憲と戦争への道を阻むため、全力を尽くされることを呼びかけます。

2017年10月6日
戦争させない1000人委員会

安倍9条改憲NO！全国市民アクションが本格スタート 安倍9改憲NO！3000万署名の成功を

安倍9条改憲NO！全国市民アクション
9.8 キックオフ集会



安倍首相による9条改憲阻止のため、新たに発足した「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」のキックオフ集会が、9月8日、東京・中野区の「中野ゼロホール」で開催され、会場ロビーにまで溢れる1500人が参加しました。



集会では、主催者を代表して「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」の高田健さんが、「憲法改悪阻止の一点で結集し、広範な人々が連帯

し、市民の力で改憲の企てを阻止しよう！」と訴えました。

また、新たな運動団体を起こすことになった経過を総がかり行動実行委員会の福山真劫さんが報告。「これまでの運動は安倍政権を倒すまでに至らなかった。今度こそ安倍政権を打倒し、憲法9条改悪は絶対させないための体制と枠組みのため、『総がかりを超える総がかり』として、新たな団体に参加いただき『安倍9条改憲NO！全国市民アクション』を発足させた。連帯の輪を広げて、たたかえば絶対に勝てるという自信と確信を持ち、一大運動を作り出そう！」と呼びかけました。

その後、発起人・呼びかけ人の浜矩子さん（同志社大学



教授、鎌田慧さん（ルポライター）、暉峻淑子さん（埼玉大学名誉教授）、佐高信さん（評論家）、高野孟さん（ジャーナリスト）、落合恵子さん（作家）、香山リカさん（精神科医）らが登壇し、熱いアピールを行いました。

【発言要旨参照】



また、コメディアン松元ヒロさんによる「憲法くん」等のミニライブ、清水雅彦さん（日本体育大学教授）による安倍総理の9条改憲の狙いと問題点などをテーマとし

た憲法学習会も開催しました。

最後に、総がかり実行委員会の小田川義和さんが、行動提起を行い「3000万全国統一署名や大規模集会など、あらゆる行動をやり抜こう。11月3日の国会包囲大行動への参加を！」などと提起しました。



【呼びかけ人からの発言（要旨）】

浜矩子さん（同志社大学教授）



こんなに多くの方々が集まっていることに興奮している。不可能を可能にする連帯だ。これを恐れて奴らは共謀罪を焦ってつくったのだろうか、時すでに遅いだ。

今日は奇跡の【Day

One】だ。聖書に【荒野で叫ぶ者の声】という言葉があるが、外から危険を訴える声だ。声高に声を上げていきましょう！

鎌田慧さん（ルポライター）



安倍の「9条加憲」は致命的な欠陥があるものだ。「総がかり」を超えた「総がかり」が今始まろうとしている。

60年安保は労働組合が引っ張ったが、最近市民が引っ張った。こんどこそ、

労働運動と市民運動が一緒になってやる。今日はその出発点だ。

暉峻淑子さん（埼玉大学名誉教授）



朴政権を打倒した韓国のある人が、戦後、誰も殺し殺さなかった日本の平和主義への誇りはどうしたんだと聞いてきた。

抵抗は多様でなければならぬ。デモ・集会で、声を上げることも大事だが、我々の訴えを、みなさんのあらゆる能力を

使って地域の一人ひとりに納得してもらおう運動をすることがとても大事だと思う。



佐高信さん（ジャーナリスト）



「自民党には天罰を！ 公明党には仏罰を！」と言ってきたが、「大阪維新・都民ファーストには神罰を！」と言いたい。

北朝鮮問題で亀井静香も言っているが、武力で威嚇し北朝鮮を追い込んでいるアメリカだが、すぐやめさせるべきだ。やめないなら、日米同盟を破棄すべきだ。

高野孟さん（ジャーナリスト）



安倍首相に近かったNHK解説員の岩田明子が、雑誌に「安倍政権、おごりの証明」との文章を書いている。

「総がかり」以上の「総がかり」をつくり、もっと大々的な統一戦線で、アベを倒す。改憲案もいっしょに葬る。ともに頑

張りましょう。

落合恵子さん（作家）



大きなものに当たるとき、やわらかいネットワークが必要だ。今日がそのスタートだ。

ヒトラーの後継者ゲーリングは言っている。「国民を戦争に巻き込むのは簡単だ。外国から攻撃されていると言えれば充分だ」。これが彼らの正体だ。そして、私たちを忘れさせていく沢山のシステムがある。その最大のものが東京オリンピックだ。このシステムにのらないで、運動を続けて行きましょう。

香山リカさん（精神科医）



財界にも安倍政権にうんざりしている人はいる。平和主義者もいる。メディアも最近変わりつつある。ますます、おかしいと思う人々が確実に増えている。地殻変動が起きている。

私たちは「アベの終わり」を見届けることが必ずできる。そこまで頑張ろう。

9.19 戦争法強行採決から2年 戦争法・共謀罪の廃止と安倍内閣退陣を求め 国会正門前に1万500人



2015年9月19日未明、参議院で「戦争法」採決が強行されました。あれから丸2年が経過しました。この間、安倍政権は「共謀罪」についても強行採決（6月15日）を行うに至るなど、憲法破壊・平和破壊・人権破壊に向けた攻撃を強めてきました。

私たちはこの暴挙を許した悔しさを受け止めながら、これら憲法違反の法律を廃止するとともに、憲法破壊を策動する安倍政権を打ち倒す決意をみんなで打ち固めるべく、9月19日、国会正門前での大集会を開催しました。

野党からの憲法に基づく臨時国会開催要求を無視し続けた挙句、ようやく9月28日の臨時国会開会日が近づいたところで、安倍首相は冒頭解散策動を弄し始めました。これに対し市民の怒りは頂点に達し、参加者のコールは、いつもにも増して怒りがこもったものとなりました。

民進党・小川敏夫さん、共産党・志位和夫さん、社民党・福島みずほさんが登壇し、それぞれ冒頭解散を徹底弾劾するとともに、市民と共同し、安倍政権打倒でがんばる決意を述べました。また、自由党・小沢一郎さんからはメッセージが寄せられました。

続いて、高田健さん（憲法9条を壊すな！実行委員会）から主催者あいさつ。2年間の積み重ねの中で切り開かれた市民と野党の共闘をもって、この党利党略解散・総選挙に立ち向かおうと呼びかけました。

また、戦争法廃止とともにたたかってきた学者の会、ママの会、そして違憲訴訟の会から連帯のあいさつを受けました。

最後に、戦争をさせない1000人委員会の福山真劫さんから行動提起。全国市民アクションの発足とこの情勢を受けて膨大な内容となりましたが、1万500人の参加者はともにがんばりぬく決意を確認しあいました。

戦争をさせない1000人委員会は正門前集会に先立ち、院内集会を開催しました（立憲フォーラムと共催）。講師は山口二郎さん（法政大教授・市民連合）。



改憲阻止！ 戦争法・共謀罪廃止！ 辺野古新基地建設反対！ 戦争をさせない1000人委員会 9・10月のとりくみ

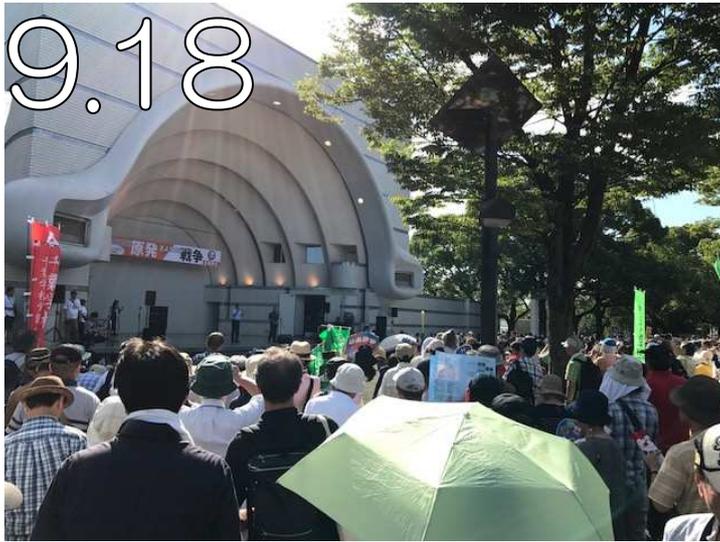
9.15



9月15日、「共謀罪は廃止できる！9.15大集会」が開催され、約3000人の参加。NGOなども含め幅広い枠組みでとりくまれた。共謀罪廃止に向け、あらたなスタートとなった。



9.18



9月18日、代々木公園で「さようなら原発！さようなら戦争！全国集会」が開催され、9500人が参加。

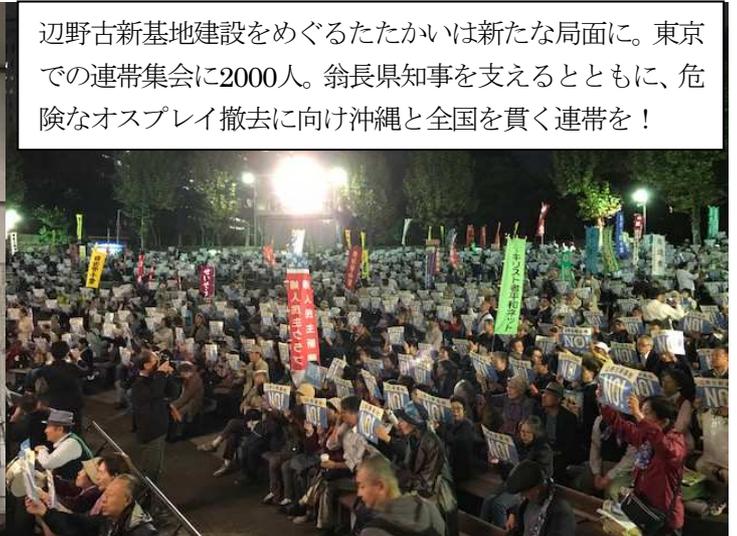


10.4

翁長知事の工事差し止め訴訟支援！ オスプレイ配備撤回！
辺野古新基地建設を許さない 10.4 集会



辺野古新基地建設をめぐるたたかいは新たな局面に。東京での連帯集会に2000人。翁長県知事を支えるとともに、危険なオスプレイ撤去に向け沖縄と全国を貫く連帯を！



「安倍9条改憲NO！」 憲法を生かす全国统一署名」 3000万筆集め成功させよう！

次ページに署名用紙を掲載しています。来年の5月3日の憲法集会での発表に向け、全国各地での展開をお願いします。

カンパのご協力をお願いします！

今後も「戦争をさせない1000人委員会」はもちろん、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」や「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」の活動をすすめていくうえで、皆さんからのご支援が不可欠です。カンパのご協力をぜひお願いします。

◆◆◆◆ 主な行動日程 ◆◆◆◆

■10月19日（木）18:30～

◇9条変えるな！安倍政権退陣！10.19総がかり行動（仮称）

- ・場所：衆議院第二議員会館前
- ・主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

■10月22日（日）

（衆議院選挙投票日）

■10月27日（金）10:30～

◇違憲訴訟差し止め訴訟第5回口頭弁論

- ・場所：東京地裁103号法廷 ※傍聴受付10:00締め切り

◇報告集会 時刻未定

- ・場所：未定

■11月3日（金・休）14:00～

◇安倍9条改憲NO！全国市民アクション

11.3国会包囲大行動

- ・場所：国会議事堂周辺
- ・共催：安倍9条改憲NO！全国市民アクション

■2018年1月26日（金）13:30～

◇違憲訴訟国賠訴訟第6回口頭弁論

- ・場所：東京地裁103号法廷 ※傍聴受付13:00締め切り

◇報告集会 時刻未定

- ・場所：未定

内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名

2017年5月3日、安倍晋三首相は突然、「新たに憲法9条に自衛隊の存在を書きこむ」「2020年に新憲法施行をめざす」と述べました。この発言を受けて、改憲への動きが急速に強まっています。

戦後70年以上にわたって、日本が海外で戦争をしてこなかった大きな力は憲法9条の存在と市民の粘り強い運動でした。いま、9条を変えたり、新たな文言を付け加えたりする必要は全くありません。私たちは、日本がふたたび海外で「戦争する国」になるのはゴメンです。

私たちは、安倍首相らによる憲法9条などの改悪に反対し、日本国憲法の民主主義、基本的人権の尊重、平和主義の諸原則が生かされる政治を求めます。

請願事項

- 1、憲法第9条を変えないでください。
- 2、憲法の平和・人権・民主主義が生かされる政治を実現してください。

氏名	住所

第一次集約 2017年12月20日 第二次集約 2018年4月25日 第三次集約 2018年5月末

呼びかけ団体 **安倍9条改憲NO! 全国市民アクション**

連絡先 1000人委員会 ☎03-3526-2920 / 9条壊すな! 実行委員会 ☎03-3221-4668

憲法共同センター ☎03-5842-5611 / 九条の会 ☎03-3221-5075

送り先 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1-2-3 錦華堂ビル4A 電話 03-5280-7157